

Gavi ワクチンアライアンス第4次増資会合
(グローバル・サミット: 予防接種を通じた健康と繁栄2025)
松本尚外務大臣政務官によるステートメント
(2025 年 6 月 25 日、於:ベルギー・ブリュッセル)

1. 冒頭挨拶

ウルスラ・フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長
アントニオ・コスタ欧州理事会議長、
ビル・ゲイツ ゲイツ財団理事長、
マニュエル・バローゾ Gavi 理事会議長、
御列席の皆様、

日本の外務大臣政務官の松本尚です。日本政府を代表して、Gavi ワクチンアライアンス第4次増資会合(グローバル・サミット: 予防接種を通じた健康と繁栄2025)に参加できることを光栄に思います。

今次会合の開催にあたり、EU とゲイツ財団のリーダーシップ、Gavi のバローゾ理事会議長及びニシュタール事務局長の御尽力に感謝いたします。また、日々、子どもと人々の健康と命を守るため尽力をされている各国の大臣閣下、国際機関の代表者をはじめ、ご列席の皆様の取組に敬意を表します。

2. ワクチンを衡平に提供するための Gavi の取組への支援と期待

Gavi は、これまでの 25 年間に亘り、新型コロナウイルスへの対応等の困難にも柔軟かつ機動的に立ち向かい、ワクチンへの衡平なアクセスを推進することを通じ、WHO などの中核機関と共に UHCの実現に向けて多大な貢献をしてきました。日本政府はこのような Gavi の方針、活動を高く評価し、重要なパートナーとして支援しています。

予防接種の提供は、多くの人々の命を救うことにより、経済成長や健康安全保障にも寄与するものです。また、Gavi は低価格で安全なワクチンを衡平に提供するために、アフリカを含む地域のワクチン製造能力の強化に挑むなど革新的な取組を展開しており、こうした取組に日本も貢献できることを光栄に思います。デング熱、Mpox 等の日本製のワクチンや予防接種記録に導入されている乳児の指紋認証システムなどの日本の高い技術力、加えて今後日本が開発するワクチンなどが、これまで以上に Gavi に貢献できることを期待しています。

3. 人間の安全保障に向けた日本の国際的取組

日本政府は、国際保健を外交の柱の一つに位置づけ、人間一人ひとりの生存・生活・尊厳を守り、「人間の安全保障」を実現すべく、全ての人が効果的で良質な保健医療サービスを受けることができるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成に向けた取組を主導してきました。

日本政府は、WHO や世界銀行と連携し、低・中所得国における UHC 達成のための知見収集や人材育成を行う世界的な拠点、「UHC ナレッジハブ」の設立に向けて準備を進めております。

3. 次期戦略期間に向けた日本の支援

日本政府は、Gavi が掲げる「予防接種を通じて、誰一人取り残さない(Leaving no one behind with immunization)」というミッションを強く支持し、引き続き力強く支援していくことを約束します。同時に、世界情勢が大きく変化する中、国際保健関係機関との一層の連携と相乗効果の確保を期待します。

日本は、Gavi とともに、またその一員として、次期戦略が真に成果を上げるものとなるよう、引き続き取り組んでいきます。

ありがとうございました。

(了)